



あすなろっこ



令和7年11月1日発行
社会福祉法人岡山こども協会
あすなろこども園

〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19
TEL (086) 955-5665



スポーツの秋です。こどもたちは10月の運動会で披露した運動あそびやダンス、リズムあそびを日々楽しんでいます。園庭から、大きいクラスのこどもたちが踊っている曲が聞こえてくると、はな組のこどもたちも音楽に合わせて身体を動かしています。リズムあそびも好きで、保育者がうたを口ずさむと、『おうま』や『どんぐり』のうたに合わせて、ハイハイをしたり、転がったり。半年ほどの園生活でこんなことができるようになったんだ！と日々驚かされることもあります。音楽やうたに合わせて自然に身体が動く心地よさの中で、手や足の力もついています。大人と一緒に、友だちと一緒に、だからこそできる、はな組です。

朝倉 満里奈

～運動会～

第4回あすなろこども園運動会では、たくさんのご声援と温かい拍手をありがとうございました。当日は天候の影響でプログラム、場所を変更しての開催となりましたが、普段から楽しんでいるあそびを通して、こどもたちの今持っている力を精一杯発揮できたと思います。保護者の皆さまのあたたかいまなざしと声援が、こどもたちへの大きな力となった運動会でした。



きゅうしょくの じかん



サクサク ～はったいにクッキー～

回覧

【材料・作りやすい分量】

- はったいこ 110g
- 薄力粉 110g
- ベーキングパウダー 小さじ 1/3
- 三温糖 90g
- 卵 1 個
- サラダ油 90g
- 豆乳 適量（生地がまとまりづらい場合に加える）

【作り方】

※動画では、生地を薄く伸ばして切っていますが、適当な大きさの生地を手のひらで潰して平べったい丸にして作ってもいいですよ。



URL: <https://youtu.be/DA0ozCUXnSM>

... — ... — ... — ・ 今月のテーマ はな組（0歳児） ～お気に入りの1冊～

「どこどん どこどん」

初めはひたすらページをめくることが楽しかったはな組ですが、少しずつ絵本の中のイラストを指さしてみたり動物や絵本の中の動作を真似したりと絵本時間がとても楽しいようです。最近では、保育者の元へ「読んで」と絵本を持ってくることがあり保育者の膝に座ってゆったりした時間を楽しんでいます。中でも子どもたちのお気に入りの1冊は『たいこどん』です。「どこどこ～ん」と繰り返して出てくる太鼓を叩く真似がとても上手になってきました。絵本にでてくる簡単な言葉も真似できるようになってきました。

朝倉 満里奈



おおきな“わ”
だより

11月より、早見 眞理子がはな組に入ります。よろしくお願いします。

ゆき組（1歳児）



「おやさい とんとん」

子どもたちがよく手に取るお気に入りの一冊、『おやさいとんとん』。絵本の中で野菜を切る場面になると、「とんとん♪」と一緒に手を動かしたり、できあがったカレーを「パクッ」と食べるまねをしたりと、思わず保育者も子ども笑顔になる絵本です。「にんじん」「ブロッコリー」などいろいろな野菜の名前にも親しみながら、まねっこ遊びを楽しみ、絵本の世界でもおいしい時間を過ごしているゆき組です。

内田 菜月

「おおきなかぶ」

おなじみの名作です。繰り返し出てくるフレーズが覚えやすく、こどもたちも一緒に「うんとこしょ、どっこいしょ」とかぶを抜こうと身振りをしたり、声を出したりしながら、お話の世界に入って楽しめます。最後に抜けるとこどもたちも「すってーん」とひっくり返るのがお決まり。

先日パジャマの入ったかごをこどもたちが数人で「うんとこしょ、どっこいしょ」と掛け声で息を合わせて運んでいました。何気ない生活の一場面で絵本のフレーズがでてくるなんて、お話が身近になっていることが嬉しいです。いろいろな絵本がありますが、昔からあるお話もこどもたちに伝えて続けていきたいと思います。

河合 比呂子



にじ組（2歳児）



つき組（3歳児）

ズコッ！



「だいじょうぶ？ズコッ」

さまざまな動物が来て、急に丸まってしまう。その姿を見て「どうしたの？だいじょうぶ？」と心配して声をかけた瞬間けろっとした顔をして「だいじょうぶでーす！」と言う動物。心配したのに大丈夫なのかい！と突っ込んでしまう内容でみんな大笑い。最後は“ズコーッ”とこけるところがこどもたちのお気に入りです。うたを歌いながら話が進んでいくのですが、そのうたもつい口ずさんでしまうほど、覚えやすいものです。動物以外にも、「♪つき組さんが丸まった～。どうしたの？だいじょうぶ？」と歌うと、自然とこどもたちが丸まります。その姿もとっても可愛いので、何度も繰り返し楽しんでいきます。

影山 美穂

ほし組（4歳児）

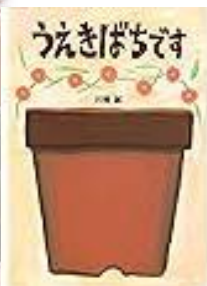
「めっきらもっきらどおんどん」

木の穴に落っこちた少年が、へんてこな世界に迷い込み、妖怪たちと夢中になって遊ぶお話です。運動会の前には、絵本に出てくる妖怪で縄跳び名人の“もんもんびゃっこ”目指して縄跳びを頑張りました。もんもんびゃっこから挑戦状が届き、妖怪の世界に連れていかれるかもしれない！と、ちょっぴり怖くなった子もいました。絵本の世界と現実の世界が隣り合わせのほし組です。

牧 文香



そら組（5歳児）



「うえきばちです」

“うえきばちがあったので つちをいれて、のっぺらぼうをうえました”という非日常的な一文から始まります。この一文でこどもたちはすでに絵本に釘付けです。「なんでのっぺらぼうを埋めるのよ～」と言いながらも、水をあげると目や歯が出て…「次は鼻かな～？」とニヤニヤしながら次のページを楽しみにしています。

寝る前に何の本を読もうか悩んでいると「うえきばち！うえきばち！」とリクエストされます。何度読んでも楽しめる一冊です。間を溜めて次のページをめくることで、こどもたちは期待を持って楽しむことができます。

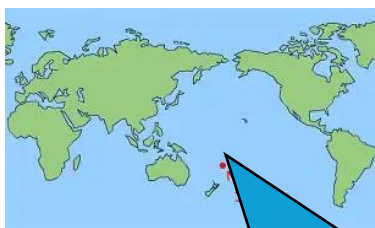
田村 胡桃

学童クラブ

『トンガ王国』

保護者スタッフの方が、青年海外協力隊でトンガ王国で過ごした経験の、貴重なお話を聞かせていただきました。文化や生活を知り、『マロ』（トンガ王国ではありがたいの意味）という挨拶を覚えました。こども達が、これを機に世界のいろいろな国に興味を持てたらいいな、と思います。

原 尚平



トンガ王国はこの辺り



子育て支援センター



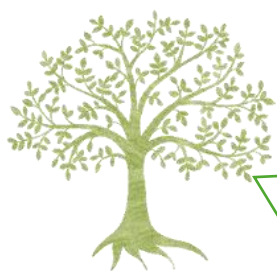
「ぼん！」

子育て支援センターでは毎月、赤磐市中央図書館から50冊絵本を借りています

今月は「ぼん！」の絵本が人気でした。カメの顔がぼんっ！と出るなど、いろいろな動物の変化を楽しむことができます。

土井 かおり

こかげより（法人事務局）



私のおすすめの1冊は、谷川俊太郎作の「これはのみのぴこ」です。一匹の「のみ」から始まってページをめくるとに人物や動物が登場し、どんどん積み重なる言葉を早口で読み進めるのがこどもたちにも私にとっても楽しい時間だった事が思い出されます。

古川 智子

